

一般社団法人日本成人先天性心疾患学会

2022 年度第 1 回理事会 議事録

1. 開催日時：2022 年 3 月 24 日（木）19:00～20:30
2. 開催場所：東京都新宿区山吹町 358 番地 5 アカデミーセンター
※出席者は全員、web 会議システム（zoom）を利用して参加した
3. 出席者：
 - ・理事総数 36 名
 - 出席理事 28 名（代表理事を含む）：赤木禎治、石津 智子、稲井 慶、市川 肇、今井 靖、上村 秀樹、榎本 淳子、大内 秀雄、小川 正樹、笠原 真悟、齋木 佳克、坂田 泰史、塩瀬 明、庄田 守男、先崎 秀明、立野 滋、照井 克生、長坂 安子、中埜 信太郎、簗 義仁、檜垣 高史、平田 康隆、平松 健司、三浦 大、水野 芳子、三谷 義英、八尾 厚史、山岸 敬幸、
 - 欠席理事 8 名：池田 智明、伊藤 浩、落合 亮太、新川 武史、辻田 賢一、筒井 裕之、宮崎 文、吉松 淳
 - ・出席監事 1 名：松尾 浩三 欠席監事 1 名：森 善樹
 - ・出席顧問 2 名：市田 露子、松田 暉 欠席顧問 1 名：丹羽 公一郎
4. 議長：代表理事 赤木 禎治
5. 現在の会員数：医師 986 名、多領域専門職 79 名、一般 46 名、名誉会員 26 名、賛助会員 3 名、計 1,140 名
6. 議事の経過の要領およびその結果
定刻に定款第 30 条に定める定足数を満たしていることが確認され、赤木代表理事が議長となり、開会を宣言した。議長より、議事録署名人は定款第 31 条より代表理事および出席した監事が務めることが確認された。web 会議システム（zoom）について、議事進行に支障がないことを確認し、審議に入った。

(1) 報告事項

報告事項 1：代表理事報告

赤木代表理事より、本理事会において、新委員会承認を行う旨、専門医認定に関する審議が行われる旨、確認がされた。

報告事項 2：各委員会委員長より挨拶

各委員会委員長による委員会が取り組む課題について報告があった。

- 将来構想委員会（赤木理事）：学会の今後の方向性を定める委員会である。今後 2 年間は保険委員会と協同して外来診療加算を取る流れを作り、国内での ACHD 領域の教育体制を幅広く進める試みを行う。
- 学術委員会（稲井理事）：学術委員会における各部会の役割を決めている。
- 研究部会（檜垣理事）：今後行いたい研究やテーマの提案を頂きながら、データやエビデンスを出していきたい。

- YIA 選考部会（八尾理事）：急激に ACHD 分野への参入者が増え、レベルの高い選考となった。論文は不整脈、フォンタンなど多岐にわたるため、その時々に応じて必要な審査員を加えて審査を行っていく。
- 学術集会企画部会（大内理事）：時代の流れにあったトピックを見つけてセッションを検討していく。
- 学会誌編集委員会（稲井理事）：原著論文から症例報告まで幅広く引き受けることから始め、若手医師になるべく論文を書いてもらいたい。年間 10 件ほどの投稿があり、学会号を除いて年に 1 号か 2 号発行しており、今後増やしていきたいと考えている。
 - ・（赤木代表理事）学会誌に投稿された論文の中で、年に一度優秀な論文に賞を授与するなど検討したい。第 23 回成人先天性心疾患学会シンポジウムでの発表音声データを文字起こしできないか検討中である。
- 専門医制度委員会（石津理事）：経験がある先生方より引継ぎ作業を行っていく。
- 専門医認定部会（立野理事）：暫定専門医から専門医への移行手続きを実施した。
- 修練施設部会（八尾理事）：2 年毎に実施される新たな修練施設の募集と確認事項を進めていく。
- 移行医療、専門医制度普及委員会（三谷理事）：移行医療支援センターに関してこの学会でできることはないか。特にアンケートを通して移行医療支援に関するニーズを探りながら、都道府県の循環器病対策協議会の先生方に提案を行った。都道府県レベルで支援に関することが始まる中で、本学会がこれから循環器全体の中で果たしていく役割は非常に大きいものになってくることを痛感している。学会としてのニーズの把握ないしは提案を行っていければと思う。また、日本循環器学会を主体とする 8 学会共同の「先天性心疾患の成人への移行医療に関する提言」と、「移行支援センター設立に向けた提言」が近日中に発表される予定である。
 - ・（坂田理事）移行医療をどうしていくかは重要な議題である。病院が周りの地域において、様々な支援体制を構築できるか、今後の移行医療に注意しながら考えていきたい。
- 保険委員会（三浦理事）：今後、本学会が取り組むべき診療報酬の課題について 2 年後に向けて戦略を練っていきたい。
- 移植委員会（市川理事）：COVID-19 の影響により、全くドナーが出てこない。アロケーションに関するシステムがアメリカに比べて遅れており、変えないといけない。通常の移植を待っている人の待機期間がどんどん伸びているのがネックになっている。新委員会で今後アクションを起こしていきたい。
- 広報交流委員会（赤木理事）：国際学会の紹介、ウェビナー企画についてアクティビティを上げたいと考えている。
- 財務委員会（立野理事）：収入を上げて支出を絞るということに尽きる。会費の回収率は良い状況である。
 - ・（赤木理事）会員数の増加によって比較的順調に運営されており、年に 2 回のセミナーで黒字を作り、そこで ACHD NIGHT を運営している。
- 多領域専門委員会（水野理事）：情報交換とスキルアップを目的に、学術集会とセミナー等

の企画を中心に行う。今後は幅広い多領域の方々と交流できるように考えていきたい。

・(赤木理事) 検査技師、特にエコーの技師の入会を増やしていきたい。

報告事項3：関連学会学術集会、セミナーについて

赤木理事より次回の ACHD セミナーを6月4日(土)に、秋のセミナーを11月19日(土)に web 開催にて計画している旨が周知された。

(2) 決議事項

決議事項1：新委員会の承認について

議長は第1号議案を上程し、新委員会部会の構成について諮ったところ、欠席理事を除く全会一致で承認された。

決議事項2：専門医認定と新専門医制度開始について

議長は第2号議案を上程し、専門医認定部会長の立野理事より、暫定専門医から専門医への移行手続きについて報告がなされた。160名は条件を満たしていると判定し、1名は最終確認中であり、10名が定年などの理由から辞退もしくは申請無しであった。この議案について議長が諮ったところ、欠席理事を除く全会一致で承認された。

(3) その他

● 第24回日本成人先天性心疾患学会総会・学術集会について

第24回学術集会会長として檜垣理事より下記の通り報告がなされた。

(檜垣理事) 2023年1月13日(金)～15日(金)に開催予定である。できるだけ現地開催にて進めたい。プログラムなどは委員会の先生方と相談しながら決めていく。海外からは University of Leuven の Dr.Philip Moons、Georges Pompidou European Hospital の Dr.Magalie Ladouceur、Children's National Hospital の Dr.Seiji Ito の招待を考えている。

(赤木理事) 特に循環器内科と外科の先生方には、お役目を担って頂けるとありがたい。

(4) 次回理事会日程について

議長より 2022年度第2回理事会を2022年6月2日(木)に開催する旨、周知がなされた。

以上をもって議事の全ての審議および報告を終了したので、議長は閉会を宣言し、解散した。

上記議事の経過の要領およびその結果を明確にするために、代表理事および出席監事は、次に署名押印する。

2022年3月24日

一般社団法人日本成人先天性心疾患学会

(署名)

(捺印)

議長 代表理事 赤木 禎治

監事 松尾 浩三

監事 森 善樹